

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	地域部会（中央部会 月例部会）		
開催日時	2024年5月5日（日）9時30分 ～12時30分		
開催場所	千葉市若葉区大草谷津田	参加者	12名

活動概要 連休中日、立夏の日。千葉市内も25度を超える夏日となりました。案内では1時間で歩けるとあって、コンパクトで坂道も少ない今回のフィールド。コースの途中には自然や生き物、里山についての解説版も充実していました。ギンラン、ササバギンラン、ギンランとこの時期に見たいラン類も一度に観察できました。多くの方が手を入れて整備しながら守っている豊かな谷津田です。人家跡近くの古い街道沿いには、江戸時代に作られた馬頭観音も見ることができました。谷津田を上がった雑木林ではヤマトシロアリの羽アリ群がって飛び上がっていく様子に出会いました。一瞬眉をひそめたくるところですが、みなさん羽アリに群がって観察していました。スギの切り株から枝の痕を確認し、枝打ちの重要性も学ぶことができました。キビタキの澄んださえずりを聞きながら、今回も楽しく学びの多い観察会となりました。



入って間もない杉林の斜面には複数のギンランが見られました。



ササバギンラン。花より葉が高い位置にあり、ギンランより大型です。



明るい雑木林ではギンランが複数。黄色の花が目立ちます。



ヒガンマムシグサが実をつけていました。



ハナイカダの雌木。なぜこの位置に実がつくのか。伝説の出どころは、、、



ホタルカズラの青が目を引きます。二つの花が同時に咲くのはなぜ？



林縁ではダイミョウセリがしっかりポーズをとってくれました。



谷津田では学生さんたちがゴムナガをはいて田植えに汗を流していました。



誰が誰なのか。参加者でしか分からない集合写真。

FI C参加者 稲岡、植沢、小高、椎名、菅井、高野、竹内、西村、広畠、村山、望月、宮崎